



発行所
〒107-0052 東京都港区赤坂
7丁目5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 尾上浩一
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を...

主な内容

- 1面: 新会長インタビュー、きざし
2・3面: 定時総会
4面: 楽しい子育て全国キャンペーン、民放連との懇談会
5面: ユネスコスクール、県P自慢
6面: 文部科学省のページ
7面: 心のきずな61キャンペーン、学校の窓から、推薦映画
8面: 協議会会長報告、委員会大会のお知らせ、PTA会長日記

日本PTA公益社団法人へ移行

平成25年度会長 尾上浩一氏に聞く



新会長 尾上浩一氏

公益社団法人日本PTA全国協議会平成25年度定時総会が、6月26日、東京都港区のホテルフロラシオン青山において開催され、尾上浩一氏が新会長に承認されました。

Q1 PTA活動に関わるようになったきっかけは？
私は子どものころから生まれ育ったこの地域(兵庫県姫路市)が大好きで、今も誇りに思っています。

Q2 今日にいたるまでの活動や思い出をお聞かせください。
小学校PTA時代、いざ活動してみると、地域との関わりが思った以上に希薄な上、やることといえば学校行事の補助的な役割や、前年踏襲型の役員会での議論というより連絡調整。その上、本質的な学校経営自体の曖昧さ等が、目を追う毎に目につくようになってきました。

Q3 公益社団法人に移行したことによる変化と活動の方向性を教えてください。
内閣府の認定を受けた公益社団法人として、日本PTA全国協議会はこれから更に責任ある組織であり続けること

Q4 今年度の重点活動についてお聞かせください。
今、社会の中心を担う

Q5 単位PTAでの感動したエピソードは？
子どもたちが好きな授業の一つに「水泳の時間」があります。

Q6 兵庫県PTAでの感動したエピソードは？
近畿ブロック研究大会を主催した時、実行委員会に関わった多くの人たちと色々な経験をして、苦労と喜びと感動を分かち合った日々は今でも心に残っています。

Q7 座右の銘は？
「平常心」

Q8 全国の会員にお伝えしたいことは？
PTAは、純粋に「保護者と先生が、ともに同じ目的を持って、子どもたちが育つ学校・地域のいい教育環境づくりをする会」の活動と想っています。

Q9 子どもたちへのメッセージをお聞かせください。
子どもたちへのメッセージというより、保護者としてすべきこととしてしまつていますが、特にケータイ・スマホ・インターネット等によるサイバー空間の脅威に対しては、使用させる責任者である保護者が、知らない、分らないでは済まされず「持たせない」「よ

い学校になりました。ここまでなるには様々な困難もありましたが、それを乗り越え、共に活動したPTA、学校、地域の皆様の協力や理解があったからこそできたものと感謝し、子どもを中心に置いた活動の大切さを実感させられました。

私たちが責任世代が、真剣に日本の未来と教育について考え、議論し、公益目的事業の積極的な取り組みと能動的な行動を行うことが必要とされています。

しかし現実には、いじめ、体罰等により尊厳を自ら断つという危機的な状況が、日本の未来を担う子どもたちの中で起こっています。

感動したエピソードは？
子どもたちが好きな授業の一つに「水泳の時間」があります。しかし、特別支援学級の子どもの特別介助員がいないとプールに入ることができず、教室での授業に切り替えられてしまつていくことを聞かされ、仕事そっちのけで複数人児童を助ける学年の特別介助員に登録しました。

Q6 兵庫県PTAでの感動したエピソードは？
近畿ブロック研究大会を主催した時、実行委員会に関わった多くの人たちと色々な経験をして、苦労と喜びと感動を分かち合った日々は今でも心に残っています。

Q7 座右の銘は？
「平常心」

Q8 全国の会員にお伝えしたいことは？
PTAは、純粋に「保護者と先生が、ともに同じ目的を持って、子どもたちが育つ学校・地域のいい教育環境づくりをする会」の活動と想っています。

Q9 子どもたちへのメッセージをお聞かせください。
子どもたちへのメッセージというより、保護者としてすべきこととしてしまつていますが、特にケータイ・スマホ・インターネット等によるサイバー空間の脅威に対しては、使用させる責任者である保護者が、知らない、分らないでは済まされず「持たせない」「よ

本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局員用」を目安に配布しています。

きざし
1学期が終わり学校は夏休みになりました。夏休みの子どもたちの楽しみに部活動があります。日本PTA全国協議会の「教育に関する保護者の意識調査報告書(平成23年度)

平成25年度定時総会開催

公益社団法人人格取得

公益社団法人日本PTA全国協議会平成25年度定時総会が、6月26日、東京都港区のホテルフロンソノ青山にて開催されました。

会長あいさつ

武田 岳彦

本日は公益社団法人日本PTA全国協議会の定時総会に、大変ご多用のところを、文部科学大臣下村博文様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

また、全国各地よりお集まりいただきました会員の皆さまをお迎えして、このように盛大な総会を開催できるとは大変うれしく、感謝を申し上げます。また昨年一年間、日本PTAの活動に対して温かいご支援を賜りましたことに、重ねて心から御礼を申し上げます。

また、かねてより準備を進めてまいりました公益社団法人格を、おかげさまで4月1日に取得いたしました。新しい組織として一歩を踏み出すことができました。これから日本PTAは、より信頼され愛される組織として発展していかなければなりません。

また、かねてより準備を進めてまいりました公益社団法人格を、おかげさまで4月1日に取得いたしました。新しい組織として一歩を踏み出すことができました。これから日本PTAは、より信頼され愛される組織として発展していかなければなりません。

「人づくりは国の宝

子供たちは国の一番の宝 教育は国の根幹を形づくる最重要政策

祝 辞

文部科学大臣 下村 博文氏



平成25年度公益社団法人PTA全国協議会定時総会が開催されるに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

貴団体におかれましては、日頃から小中学校におけるPTA活動を、学校、家庭、地域の架け橋として子供たちの健全育成に尽力いただいております。一人ひとりの心づくりに、深く敬意を表します。

日本の将来を担う子供たちは、国の一番の宝であり、教育は国の根幹を形づくる最重要政策です。

本年1月、21世紀の日本にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を実行に移すため、教育再生実行会議を設置され、様々な議論を進めてまいりました。6月14日には、「第二期教育振興基本計画」が閣議決定されました。文部科学省といたしましては、これを踏まえて教育再生のための施策を実行に移し、教育基本法の理念に基づ

東日本大震災を通じて、私たちは、人と人とのつながり、地域の絆の大切さを改めて痛感いたしました。学校、家庭、地域との目録から、子供たちの学び、一人一人に「地域の員」としての意識を芽生えさせ、「生きる力」を育てる上で大きな役割を果たすとともに、地域全体にも活力を与えてまいります。

文部科学省といたしましては、学校、家庭、地域の連携を広く全国で展開されるよう、PTAの皆様と力を合わせて学校支援地域本部など、様々な取組の充実を図ってまいりたいと思っております。

とりわけ、いじめ問題につきましては、先般成立した「いじめ防止対策推進法」を踏まえ、「心のノート」の全面改訂をはじめとした道徳教育の抜本的な充実、関係者が一丸となっていじめに向き合う責任体制の整備、いじめられている子供には毅然として適切な指導を行うことの徹底を図ります。

また、小学校英語の教材化や早期化を含めた抜本的な充実を検討するなど、初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育を充実させます。

さらに、子供たちに、学校における授業や地域における多様な学習や体験活動の機会など、これまで以上に豊かな教育環境を提供するため、土曜授業の在り方について検討を進めております。

より信頼され愛される組織をめざして



この一年を振り返ってみますと、まだまだ東日本大震災の影響が色濃く残る中、いじめの問題、体罰の問題等さまざまな課題が山積した一年でした。また、日中関係悪化の影響もあり、日中友好「少年少女の翼」を断念せざるを得ないなど、臨機応変に対応してはならない事柄が多く、皆さまの益々のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

また今日の総会は、そのよき意味で、2月の臨時総会も含めて日本PTAの歴史に残る第一回目の総会ということになるかと思っております。ぜひ今日の総会が、皆さまの深いご理解を待たずして速やかに進みますようご協力をお願い申し上げます。最後に、皆さまの益々のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

また今日の総会は、そのよき意味で、2月の臨時総会も含めて日本PTAの歴史に残る第一回目の総会ということになるかと思っております。ぜひ今日の総会が、皆さまの深いご理解を待たずして速やかに進みますようご協力をお願い申し上げます。最後に、皆さまの益々のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。

講話

「文部科学省が取り組む教育改革について」

文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 坪田 知広氏



地域による学校支援について
当課では、学校・家庭・地域の連携による教育支援、放課後の授業に取り組みます。

本日も午前中の会場でこの放課後子ども教室を運営する方々と、ミニディンクをしながら、また子供たちに放課後の居場所を提供するだけでなく、もともと学習支援など保護者のニーズを踏まえた事業展開をして欲しいというご要望を伺いいたしました。各地域でPTA会長さんがこの放課後子ども教室に参画されておられると思いますが、この取り組みが子供たちにとってさらに充実したものとなるよう、保護者の代表としてぜひ声を上げていただきたいと思います。

国としても本事業のさらなる充実を図るべく、今年度の開校、すべての小中学校で開設することを目指しております。この取り組みが地域・保護者の参画、協力、支援によって成り立つものでありますので、引き続きご理解、ご協力を願いたいと思っております。

家庭教育の支援について
社会教育課長の坪田でございます。私自身、小学校PTA会長として、お小委員会に出席し、運動会の打ち合わせを行ってまいりました。PTAを担当する社会教育課長がPTA会長というのは前代未聞のようでございます。私もまだまだ駆け出しのPTA会長でございますけれども、皆様の良き理、家庭教育については、児童福祉部、家庭支援部門と一体化して進めていく必要があると思っております。具体的には、幼稚園・保育園の一元化、学童保育と当課が実施しております放課後こ

も教室、家庭教育講座なども、もっと連携を密にしてやっていくことで、多くの保護者の方にそのメリットが届いていくものと思っております。

第二期教育振興基本計画について
日本は公費による教育投資が少なく、皆々私費で学費に行かせる、教材を買っただけではなく、もともと学習支援など保護者のニーズを踏まえた事業展開をして欲しいというご要望を伺いいたしました。各地域でPTA会長さんがこの放課後子ども教室に参画されておられると思いますが、この取り組みが子供たちにとってさらに充実したものとなるよう、保護者の代表としてぜひ声を上げていただきたいと思います。

国としても本事業のさらなる充実を図るべく、今年度の開校、すべての小中学校で開設することを目指しております。この取り組みが地域・保護者の参画、協力、支援によって成り立つものでありますので、引き続きご理解、ご協力を願いたいと思っております。

予算は毎年、財務省との厳しい折衝を踏まえて作られるものでございまして、少しずつ少子化の中でも教員は増やして、子供一人一人のニーズに対応していくということや、社会教育の面から学校、地域・学生・ボランティアなどの人材を結果として学費を減らして、教材を買っただけではなく、もともと学習支援など保護者のニーズを踏まえた事業展開をして欲しいというご要望を伺いいたしました。各地域でPTA会長さんがこの放課後子ども教室に参画されておられると思いますが、この取り組みが子供たちにとってさらに充実したものとなるよう、保護者の代表としてぜひ声を上げていただきたいと思います。

いじめ防止について
いじめ防止対策推進法は、大臣が自身も強い思いを持っておられ、大変困難な状況の中、議員立法で成立いたしました。いじめは、いじめない、という大きな理念を示したことが大きいと考えております。具体的な対策を定めたことについては、意義が大きいと思っております。

家庭教育の支援について
社会教育課長の坪田でございます。私自身、小学校PTA会長として、お小委員会に出席し、運動会の打ち合わせを行ってまいりました。PTAを担当する社会教育課長がPTA会長というのは前代未聞のようでございます。私もまだまだ駆け出しのPTA会長でございますけれども、皆様の良き理、家庭教育については、児童福祉部、家庭支援部門と一体化して進めていく必要があると思っております。具体的には、幼稚園・保育園の一元化、学童保育と当課が実施しております放課後こ

従前のいじめ防止対策については、地域差がかなりあったように思われます。すべての地域で危機意識を持ってもらうことが大事であり、同法では各自が主体でいじめ防止のための対策の基本方針を策定することと定められております。これまで熱心な自治体や、あるいは何か問題があったところだけがいじめ防止対策に取り組んでおりましたことも計画に書き込まれておられます。計画の着実な実施が子供の学び、確かな学力の向上につながっていくのではないかと考えております。

いじめ防止について
いじめ防止対策推進法は、大臣が自身も強い思いを持っておられ、大変困難な状況の中、議員立法で成立いたしました。いじめは、いじめない、という大きな理念を示したことが大きいと考えております。具体的な対策を定めたことについては、意義が大きいと思っております。

家庭教育の支援について
社会教育課長の坪田でございます。私自身、小学校PTA会長として、お小委員会に出席し、運動会の打ち合わせを行ってまいりました。PTAを担当する社会教育課長がPTA会長というのは前代未聞のようでございます。私もまだまだ駆け出しのPTA会長でございますけれども、皆様の良き理、家庭教育については、児童福祉部、家庭支援部門と一体化して進めていく必要があると思っております。具体的には、幼稚園・保育園の一元化、学童保育と当課が実施しております放課後こ

この法律によって悪質ないじめや最悪のケースというものはかなり防げられるし、保護者が学校が信頼感を持ち越えていくという掘り起こすようなものと思っております。今後どう運用していくかということが大事ですので、皆様にはぜひご目じていただき、ご協力をお願いできればと思っております。

いじめ防止について
いじめ防止対策推進法は、大臣が自身も強い思いを持っておられ、大変困難な状況の中、議員立法で成立いたしました。いじめは、いじめない、という大きな理念を示したことが大きいと考えております。具体的な対策を定めたことについては、意義が大きいと思っております。

家庭教育の支援について
社会教育課長の坪田でございます。私自身、小学校PTA会長として、お小委員会に出席し、運動会の打ち合わせを行ってまいりました。PTAを担当する社会教育課長がPTA会長というのは前代未聞のようでございます。私もまだまだ駆け出しのPTA会長でございますけれども、皆様の良き理、家庭教育については、児童福祉部、家庭支援部門と一体化して進めていく必要があると思っております。具体的には、幼稚園・保育園の一元化、学童保育と当課が実施しております放課後こ

平成25年度定時総会 公益社団法人日本PTA全国協議会



この法律によって悪質ないじめや最悪のケースというものはかなり防げられるし、保護者が学校が信頼感を持ち越えていくという掘り起こすようなものと思っております。今後どう運用していくかということが大事ですので、皆様にはぜひご目じていただき、ご協力をお願いできればと思っております。

「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～親子で話そう!家族のきずな・我が家のルール～三行詩募集について

都市化、核家族化、少子化など子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化中、改めて、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭でのルールづくり、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを社会全体で呼びかけていくため、これらをテーマとする三行詩を募集し、表彰を行います。

親子で話そう!
家族のきずな・我が家のルール

三行詩募集

親子の会話で育む「コミュニケーション」が育まれる「きずな」。親子の生活リズムで育む「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりの大切さを社会全体で呼びかけていくことの大切さについて、家庭での環境のやりとりから思いのこころを文章に表現した「三行詩」を募集します!

募集期間
平成25年7月1日(月曜日)～平成25年9月10日(火曜日) 必着

募集先
文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会

応募の方法

募集期間
平成25年7月1日(月)～平成25年9月10日(火)

募集対象
小学生、中学生、保護者、教職員等

募集先
文部科学省
〒100-8505
東京都千代田区霞が関3-2-2
文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室

応募先
文部科学省
〒100-8505
東京都千代田区霞が関3-2-2
文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室

主催
文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>
公益社団法人日本PTA全国協議会 <http://www.jppta.or.jp/>

- 募集内容
小学生、中学生、保護者、教職員等
- 募集内容
親子で話そう・家族のきずな・我が家のルールに関する三行詩
・家庭での日常のやりとりなどから思いのこころを表現した「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを短く表現したものであること。
・三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。
- 募集方法
・文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会のホームページに掲載
・教育委員会、都道府県・政令指定都市のPTA連合会、協議会等を通じて、公立の各小学校、中学校PTA等にて募集
- 応募方法
三行詩募集実施要綱に従って応募ください。
①応募先
子どもが公立学校に在籍する場合
子どもが在籍する学校へ提出してください。
(各学校PTAが取りまとめをし、各所属の都道府県・都・市・政令指定都市のPTA連合会・協議会等へ提出します)
②その他の場合(私立学校や国立大学法科大学院に在籍する場合等)
文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室 三行詩募集係宛てに郵送してください。

民放連との懇談会

平成25年6月10日(月)午後4時から5時30分まで、東京都千代田区尾花尾町の一般社団法人日本国民放送連盟会議室において、日本PTAと民放連との懇談会が開催された。

この懇談会は平成9年から始まり今年で17回目。日本PTAからは武田会長はじめ西園環境対策委員会委員長、副会長、常務理事の8名、民放連からは在京テレビ5社の番組編成・制作責任者など17名が参加した。

冒頭、民放連を代表して小野瀬雅久・放送の自律に関する専門部会幹事(テレビ朝日)のあいさつがあり、在京テレビ5社から児童・生徒に対するメディアリテラシーに関し、親子に向けた番組の作り方やテレビ局内見学、学校への出前授業など、特色ある取り組みが発表された。

続いて、日本PTAから、メディア調査の結果を踏まえ、「子どもに見せたい番組」や「見せたくない番組」について「有言」と答えた保護者が大きく増えたこと等の報告がなされた。

意見交換では、日本PTAから、人を騙したり叩いたりするなどの「作られた笑い」は、そのまま教室でのトラブルに発展するケースもあることから、より質の高い放送を求める要望等、また、子どもへの不適切な取材方法への改善を要請した。これらに対し民放連からは、取材のルールの徹底とともに、期待されるような番組作りを努めた旨の回答があった。

最後には、多様な情報源がある時代において、テレビがより信頼性の高いメディアになって欲しいことや、子どもたちの良い教育環境を求め日々努力しているPTAを、番組において取り上げてもらいたい旨の要望を行うなど、有意義な意見交換の時間となった。



懇談会の様子

平成二十五年六月十日
テレビメディアにおける子どもたちの健全育成への配慮に関する要望書
公益社団法人 日本PTA全国協議会
会長 武田 武彦

(テレビ局員へ)
平成二十四年度は、いじめ、体罰など子どもに関わる重大な事案が起きてしまった年でした。誠に残念でなりません。それらの事案に対し、メディアの影響が大きく、社会が注目することにより、子どもにとって良い影響を与えることもあれば、そうでない場合もあったと感じます。

昨今、子どもを取り巻く社会・生活環境について「自由に遊べる場所の減少」「ゲーム機、インターネット等娯楽性の多様化」「日進月歩の情報通信技術」など、大きく変化を続けています。テレビが子どもたちの生活に欠かせないものであることは、本協議会のアンケート調査「子どもとメディアに関する意識調査」でも明らかです。

メディアの情報が子どもに与える影響は計り知れないものがありますが、今年度の調査では、メディアが子どもに与える評価について、保護者の評価が低下しております。保護者にはマスメディアの情報への不信感もあり、子どもに対し「情報をうろためさせず、批判的に捉える情報リテラシーを身につけさせたい」という声も少なくありません。

また、本調査では「子どもに見せたい番組の有無」「子どもに見せたくない番組の有無」とともに「有言」という答えが非常に多く、テレビ番組に対する保護者の意識の高さがうかがえます。

テレビは、今や情報伝達や情報収集などで現代の生活になくてはならないものであり、子どもに対して大きな影響を与えるメディアです。本協議会としてもその大切さを理解し、「青少年に見てもらいたい番組」の情報発信など子どもの教育環境の改善に向けた活動を進めてまいります。このため、テレビメディアに対する表現の自由を尊重しつつも、これからの子どもたちの健全育成を図る上で、放送各社、制作会社に対して左記の事項について強く要望します。

一、テレビは、子どもに対して、知識、楽しみ、夢など、創造力を豊かにし人格の形成にも影響を与えるものです。番組の制作・放送にあたっては、今後とも私たちが推進する有言環境の浄化、教育環境の充実の観点から、好ましくない表現や手法がないよう十分留意いただきたい。

一、本アンケート調査において、保護者が子どもに「テレビを見せたくない理由」として明らかになった「いじめや偏見を助長する場面、残酷なシーン等」については、放送する側で十分審査、検討され、番組制作・放送にあたって、同場面が子どもたちの目に触れることのないよう留意いただきたい。

一、学校現場など子どもたちへの取材活動、また報道について、過剰と思われるケースが散見されます。憲法に基づく「表現・報道の自由」は私たちも十分理解し尊重するものであるが、過度な取材活動による子どもたちの心身に与える影響や、報道されることによる社会的影響についても十分考慮していただくこと。さらに「教育的配慮に立つ」という観点からも、子どもたちの人権を最大限に尊重し、秩序ある取材活動、報道をしていただくよう十分留意いただきたい。

【付言】日本PTA全国協議会は、児童生徒に多大なる影響を及ぼすメディアのみならず、インターネット等広範囲なメディアに対し、今後も重大な関心を持って臨み、子どもたちの健全育成の視点から好ましくない番組等のコンテンツについて関係諸団体に広く呼びかけ、内容改善のための世論形成に努めてまいります。

運動部活動の根拠に

運動部活動での体罰等の根拠にご理解、ご協力をお願いします

文部科学省では、毎年、指導者による体罰の問題に関して議論が本年5月27日に、有識者による「運動部活動の在り方に関する調査研究協力者会議」において「運動部活動での指導のガイドライン」を取りまとめました。

そして、本ガイドラインを、全国の中学校、高等学校等に送付し、運動部活動での体罰等を根絶することや、指導の内容及び方法について必要な見直しを進め、適切に効果的な指導を行っていただくことを要請しています。

第2期教育振興基本計画について

教育振興基本計画は、教育基本法の理念の実現としており、この実現に向けた教育行政の方向性として、①社会を生き抜く力の養成、②未来への飛躍を実現する人材の養成、③学びのセーフティネットの構築、④絆づくりと活力あるコミュニティの形成、⑤未来への飛躍を促す4つの基本的方向性を打ち出しています。

第2部(各論)では、4つの基本的方向性を踏まえて、教育成果の実現に向けて、成果目標・成果指標を設定するとともに、具体的な体系的な施策を掲げています。以下、基本的方向性①の施策例を紹介いたします。

①社会を生き抜く力の養成
 ・新学習指導要領を踏まえた言語活動等の充実
 ・全国学力・学習状況調査(全数調査の継続実施)
 ・人材の養成
 ・外国語教育の強化
 ・語学力とともに、幅広い教養や問題解決力等の国際的素養を身に付けさせる教育を行う「グローバル人材」の創出

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

②未来への飛躍を実現する人材の養成
 ・新学習指導要領を踏まえた言語活動等の充実
 ・全国学力・学習状況調査(全数調査の継続実施)
 ・人材の養成
 ・外国語教育の強化
 ・語学力とともに、幅広い教養や問題解決力等の国際的素養を身に付けさせる教育を行う「グローバル人材」の創出

③学びのセーフティネットの構築
 ・絆づくりと活力あるコミュニティの形成
 ・未来への飛躍を促す4つの基本的方向性を打ち出しています。

④絆づくりと活力あるコミュニティの形成
 ・未来への飛躍を促す4つの基本的方向性を打ち出しています。

平成24年度文部科学白書の公表について
 生学習政策局政策課
 このたび、文部科学省で平成24年度文部科学白書を公表しました。本白書の特集は以下の3本です。

①教育再生の実行
 これまでの教育改革の主要な動きや、第2期教育振興基本計画の策定、教育再生実行会議の提言等、教育再生の実行に向けた取組について特集。

②安全・安心な教育環境の構築
 さらに、東日本大震災からの復旧・復興支援についてもこの柱として整理しています。

③世界にはばたくチームジャパン!
 ロンドンオリンピックにおける日本人選手の活躍と、2020年オリンピックにおける日本の活躍に向けて、2020年オリンピックの招致の取組、スポーツ指導者に対する暴力行為の根絶に向けた取組等を記述。



美術館16期として児童生徒方1ドに開く
 高い方を募集します!

この白書全文については、以下のとおり刊行予定です。
 ※平成24年度文部科学白書(発行:日経印刷株式会社、定価:1,995円、7月31日刊行)

※白書全文については、以下のとおり刊行予定です。
 ※平成24年度文部科学白書(発行:日経印刷株式会社、定価:1,995円、7月31日刊行)

この白書全文については、以下のとおり刊行予定です。
 ※平成24年度文部科学白書(発行:日経印刷株式会社、定価:1,995円、7月31日刊行)

簡切:9月2日(月)必修
 タッチ&トーク:水士午後2時から約60分
 *「所蔵作品展」ポスターの会期中 6月25日(日)

この展覧会では、ベルギーの芸術家マルセル・ブローデル(1924-76)による映画のためのプロジェクトを参照軸として、主にフィルムやヴィデオ、写真、インスタレーション等の作品を通して、映画をめぐる芸術家の多様な実践を紹介いたします。

この展覧会では、ベルギーの芸術家マルセル・ブローデル(1924-76)による映画のためのプロジェクトを参照軸として、主にフィルムやヴィデオ、写真、インスタレーション等の作品を通して、映画をめぐる芸術家の多様な実践を紹介いたします。

この展覧会では、ベルギーの芸術家マルセル・ブローデル(1924-76)による映画のためのプロジェクトを参照軸として、主にフィルムやヴィデオ、写真、インスタレーション等の作品を通して、映画をめぐる芸術家の多様な実践を紹介いたします。

9月1日(日)は毎週開催
 活動場所:東京都千代田区北の丸公園1-1
 http://www.monma.go.jp/

子ども映画館☆
 2013年の夏休み
 小・中学生を対象とした夏の恒例イベント「子ども映画館」を今年も開催いたします。開催日は7月26日(金)、27日(土)、28日(日)、29日(月)の4日間です。毎回映画(フィルム)の上映と学芸員による解説を行います。希望者は展示室と映画室を訪問することもできます。

子ども映画館☆
 2013年の夏休み
 小・中学生を対象とした夏の恒例イベント「子ども映画館」を今年も開催いたします。開催日は7月26日(金)、27日(土)、28日(日)、29日(月)の4日間です。毎回映画(フィルム)の上映と学芸員による解説を行います。希望者は展示室と映画室を訪問することもできます。

子ども映画館☆
 2013年の夏休み
 小・中学生を対象とした夏の恒例イベント「子ども映画館」を今年も開催いたします。開催日は7月26日(金)、27日(土)、28日(日)、29日(月)の4日間です。毎回映画(フィルム)の上映と学芸員による解説を行います。希望者は展示室と映画室を訪問することもできます。

創作を行う一方、虚構美術館シリーズを発表します。美術館もまた虚構の物語装置「フィクション」の場であるという指摘は、美術館が映画をどのように扱うかを考える上で示唆的です。展覧会では、ブローデルの5つのテーマ(「静止」と「動画」「字幕と音声」「引用・再利用」「アカイサイ」)と映画のある場所)に即して、国際的に活躍する美術家13名によるフィルム、写真、映像、インスタレーション等の作品を通して、映画をめぐる芸術家の多様な実践を紹介いたします。

子ども映画館☆
 2013年の夏休み
 小・中学生を対象とした夏の恒例イベント「子ども映画館」を今年も開催いたします。開催日は7月26日(金)、27日(土)、28日(日)、29日(月)の4日間です。毎回映画(フィルム)の上映と学芸員による解説を行います。希望者は展示室と映画室を訪問することもできます。

子ども映画館☆
 2013年の夏休み
 小・中学生を対象とした夏の恒例イベント「子ども映画館」を今年も開催いたします。開催日は7月26日(金)、27日(土)、28日(日)、29日(月)の4日間です。毎回映画(フィルム)の上映と学芸員による解説を行います。希望者は展示室と映画室を訪問することもできます。

子ども映画館☆
 2013年の夏休み
 小・中学生を対象とした夏の恒例イベント「子ども映画館」を今年も開催いたします。開催日は7月26日(金)、27日(土)、28日(日)、29日(月)の4日間です。毎回映画(フィルム)の上映と学芸員による解説を行います。希望者は展示室と映画室を訪問することもできます。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

「ちよっと待って! ケータイ&スマホ」
 ネット上の有害情報等から青少年を守る「ホ」を、昨年度末に作成した子供向け啓発リーフレット「ちよっと待って!」掲載。ダウンロード可。

第61回日本PTA全国研究大会 第69回東海北陸ブロックPTA研究大会

みえ大会



みえに集えばきっと見える…三重からの「わ」
～はじまりの地で 語り育もう 子どもたちの未来～

分科会 8月23日(金) 全体会 8月24日(土)

大会趣旨 未来ある子どもたちのために、私たちは今どうしたらよいでしょうか。夢に向かう子どもたちのために、何をすべきでしょうか。大きく飛躍する子どもたちのために、手を取り合っはじまりの地「みえ」でもう一度『わ』になって語り、話し合おう

メインテーマ 『輪』—家庭・学校・地域が連携して手を取り合うPTA活動
『話』—子どもたちの夢について語り合うPTA活動
『和』—未来ある子どもたちに和の大切さを伝えるPTA活動

第5分科会 (地域連携) 桑名市民会館(桑名市)

第7分科会 (国際理解) 四日市市文化会館(四日市市)

特別第2分科会 (文部科学省協力) 四日市市文化会館(四日市市)

第1分科会 (組織運営) 三重県総合文化センター(津市)

第3分科会 (学校教育) 松阪市民文化会館(松阪市)

全体会 三重県営サンアリーナ(伊勢市)

第4分科会 (広報活動) 伊勢市観光文化会館(伊勢市)

第6分科会 (人権教育) 伊勢市生涯学習センターいせトピア(伊勢市)

特別第1分科会/日本PTA 三重県営サンアリーナサブアリーナ(伊勢市)

第8分科会 (健康安全) 亀山市文化会館(亀山市)

第2分科会 (家庭教育) アドバンスコープADSホール(名張市)

第9分科会 (環境教育) 志摩市阿児アリーナ(志摩市)

全体会記念講演 川井郁子氏
演題「子どもたちの未来へ」
香川県出身のヴァイオリニスト・作曲家。東京芸術大学卒業。同大学院修了。現在、大阪芸術大学(芸術学部)教授。

「あるPTA会長の日記から」

PTA活動といえは、どの学校でも長年にわたる、ある程度毎年やることが決まっている活動があります。物事にはなんでも一長一短あるものですが、長く続くということは大変貴重な反面、故に難しい面もあります。「例年通り、今まで通り。ずっとこうだったから。」

果たしてそうなのだろうか？ 今まであるカタチややり方が最良か？ 運営など改善すべき点はないのか？ 本当の意見は埋もれていないのか？ 私が一番意識したのは、運動会等保護者以外の人も訪れ、参加する行事の時の、本部のあり方と「ああして欲しい」と

「例年通り良かったら、私ももちろんあるからです。私が「本部の人」がスタッフだと分かるようにしてください。」と「ああして欲しい。こうしてほしい。」は、実は私のお願いだったのかも知れません。お揃いのポロシャツは今でも輝いています。

「例年通り良かったら、私ももちろんあるからです。私が「本部の人」がスタッフだと分かるようにしてください。」と「ああしてほしい。こうしてほしい。」は、実は私のお願いだったのかも知れません。お揃いのポロシャツは今でも輝いています。

「例年通り良かったら、私ももちろんあるからです。私が「本部の人」がスタッフだと分かるようにしてください。」と「ああしてほしい。こうしてほしい。」は、実は私のお願いだったのかも知れません。お揃いのポロシャツは今でも輝いています。

お揃いのポロシャツ 私たちが本部です！

ホームページリニューアル

より良い教育を目指して

新着情報
公益社団法人移行に伴い、ホームページをリニューアルいたしました。(13/07/05)

●日本PTAに関する情報やお知らせなど随時アップいたします。事業内容、調査結果報告、広報紙バックナンバーや日本PTAの歩みなど、のぞいてみてはいかがでしょうか？

<http://www.nippon-pta.or.jp/>

新年度の活動がスタート

協議会会長会

事務局長連絡会

- 平成25年7月18日(木)
- 三役後継分担について
 - 協議会懇談会について
 - 事務局長連絡会
 - 「就学助成事業」と「日本PTA心のきずな教育支援基金」について
 - 第61回全国研究大会みえ大会について
 - 第62回全国研究大会長崎大会について
 - 各委員会の報告
 - その他
- 各委員** 平成25年7月18日(木)各委員会で、委員長・副委員長を選出した後、今年度の活動について協議した。
- 総務委員会**
○富水大輔(大分県)
○小林泰都夫(山梨県)
○開地義明(広島市)
○教育問題委員会
○長田 広(埼玉県)
○山崎和典(和歌山県)
○林 俊作(山口県)
環境対策委員会
○内田幸雄(仙台市)
○柴田正孝(神奈川県)
○小原 良(川崎市)
厚生委員会
○藤登幸弘(岡山県)
○栗原秀泰(横浜市)
○東川勝哉(長崎県)
- 事務局長連絡会**
1. 平成25年度基本方針・活動目標・事業計画
2. 創立65周年記念式典について
3. 第35回広報紙コンクールについて
4. たのしい子育て全国キャンペーンについて
5. 国際交流・研修事業について
6. 調査について
(1)教育に関する保護者の意識調査
(2)マスメディアに関するアンケート調査
7. 会議日程について
8. 第61回全国研究大会みえ大会について
9. 第62回全国研究大会長崎大会について
10. その他
- 映画鑑賞委員会**
社会教育または学校教育上価値が高く、広く利用されることが適当と認められる映画等を推薦する。
- 広報委員会**
年3回 各8面 13万部発行予定。



「公益社団法人」として新しいスタートを切った日本PTA。広報紙も、発行回数を年4回から年3回(8・12・3月)に変更、また、1・8面がカラーとなり、装いも新たに皆さまにお届けすることにいたしました。新メンバーが加わっ

て、今年度の活動が始まった日P広報委員会。新しいこと尽くしではありますが、PTA会員の皆さまにとって関心の深い内容を盛り込んだ、読みやすい紙面づくりに努めたいという気持ちは変わりません。様々な視点を持ちながら、「子どもたちのために」そして「子どもたちを育てる大人たちのために」役立つ情報をお伝えしていきたいと思ひます。